

「さすってもさすっても冷たくて…」 幼い女児の心臓蝕むコロナ “小児 ICU” 最重症の子どもたち救う命の現場に密着【news23】

4/7TBS



<https://news.yahoo.co.jp/articles/679d51e7278dd97fdbc5118ae9c339000bdfa362>

最も重い症状の患者が運ばれてくる ICU=集中治療室。今回、川崎市の聖マリアンナ医大病院に新しくできた“子ども専用の ICU”を取材しました。中には、コロナに感染した重症の子ども患者も…

■ “最重症の子ども”の命救う「小児専用 ICU」

川崎市にある聖マリアンナ医大病院。新たにできた「小児専用の ICU」は最重症の子どもを救う“最後の砦”です。

ベッドにうずくまるのは5歳の女の子。公園の遊具から落ちて頭を打ち、頭蓋骨の内部に出血を起こしていました。

女の子の母親

「すごくぐったりしていて、何度も、もどしてまっけていて。もしかしたらもう二度と起きないんじゃないかなという不安で…昨日は一晩すごく心配していた状態でした」

生後すぐに肝臓の手術を受けた男の子も。小さな体には、人工呼吸器や心電図など無数の管がつながられています。看護師の藤田さんは…

聖マリアンナ医大病院・小児専用 ICU 藤田茉莉花 看護師

「寝ていても声は聞こえている。アラームが鳴ったりするのは、その子が何かしら訴えているのではないかと思って、どうしたという意味で『はい』と返事をしています」

この病院の小児専用 ICU では、医師7人と看護師17人が365日、24時間体制で治療に当たっています。小児科と集中治療の専門知識が求められるため、全国的に数が限られていて常に満床に近い状態です。

■「さすってもさすっても冷たくて…」コロナで子どもが心肺停止に

取材当時、感染症に対応する特別な病室にいたのは小学1年生の女の子。1月にコロナに感染し、一時心肺停止の状態に陥りました。

コロナで重症化した女の子の母親

「近くのクリニックの先生に診てもらおうと車で行ったのですが、そこで急に白目むいて泡を吹き出す感じになって、心肺停止になって…。顔色が全然違って、手足もすごく冷たくて…さすってもさすっても、冷たくて…」

心肺蘇生の処置が施され、女の子は一命を取り留めました。しかしその心臓は、深刻なダメージを受けていました。

聖マリアンナ医大病院・小児専用 ICU 長田洋資 医師

「心臓の機能が非常に悪かった。コロナ感染症をきっかけに心臓に炎症を起こして、心臓がむくんで、心臓の機能が非常に落ち込んだ」

搬送直後に撮影された女の子の心臓のエコー画像をみると、健康な子どもの心臓と比べ、心臓の動きが極端に弱まっていました。しかし詳しい原因は分からず、治療を続けても心臓の機能はなかなか回復しませんでした。

■「一歩間違ったら、崖の下に転がり落ちてしまうお子さんばかり」

小児専用 ICU には、24 時間、昼夜を問わず急患が運ばれてきます。

この日、救急搬送されて来たのは1歳の男の子。高熱があり痙攣を起こしていました。コロナへの感染も疑われるため、急遽他の患者を移し感染症対応の個室を準備します。

聖マリアンナ医大病院・小児専用 ICU 川口敦 医師

「熱があるので何らかの感染だと思うんです。PCR 含めウイルス検査をしてから、病室から出そうかなと」

PCR 検査の結果は陰性。しかし血圧が著しく低下しているため、酸素を投与しながら容体を管理することになりました。

川口 医師

「一歩間違ったら、崖の下に転がり落ちてしまうお子さんばかりなんですよ。(急患は)診断も付いていないような状況でやっていけないといけません。何手先を読めるかが本当に勝負なんですよ」

■一時心肺停止、治療続けていた小学1年生の女の子は…

コロナに感染後、一時心肺停止となり、治療を続けていた小学1年生の女の子。

心臓の機能がなかなか回復しない状態が続いていましたが、その後の精密検査で“心臓の血管”に疾患があったことが判明。元々、血栓ができやすい状態があり、そこにコロナの感染が重なったことで心筋梗塞を発症したとみられています。

そしてこの3月…

看護師たち

「退院おめでとうございます!よく頑張ったね」

女の子は1か月余りのリハビリを経て、退院することができました。新学期から学校に通えるようになりましたが、心臓の機能は5割程度にしか戻っておらず、今後心臓の手術を受ける予定です。

コロナで重症化した女の子の母親

「正直複雑なところもあるし、起きてしまったことは辛かったんですけど、でも受け入れて頂いて本当にありがとうございました」

川口 医師

「子どもの重症コロナ患者を診る施設が、多くの地域で不足していることが明らかになったんです。どういう状況になろうが、医療を崩壊させずに子どもたちの命を必ず守れる体制を、地域で役割分担をして備えていくことが大事」

